感動的な体育大会

No.１０　６月６日（月）

大変、よい気候の下、６月３日（金）第３６回体育大会を開催することができました。

５月３１日（火）の予行練習の頃は、生徒はまだ「きちんとしよう」「まちがえずにやろう」という意識が高く、動きや表情に硬さの方が目立ちました。

しかし、体育大会当日の生徒はたくさんの笑顔も見られましたし、体育大会ができることを心から楽しんでいる様子でした。

１年生は、中学校に入学してすぐの大きな行事で、当初は中学生としての規律などにとまどいもあったようですが、日がたつごとに、友達の動きを感じる心や先生の指導を聞き洩らさないように集中する姿を感じることができました。

２年生は、「自主・創造・健康」の校訓の具現化に向け、生徒自らがダンスを創っていきました。体育大会当日はマスクを外して演技しましたが、その表情に喜びが満ちているのを実感しました。

３年生の集団行動では、保護者の皆様のご期待通りの姿を見せることができたと思います。職員が生徒に「難しいやろ。」と尋ねたところ、「はい、でも３年生やから。」という答えが帰ってきたそうです。３年生のこの自覚が、今回の演技を創り上げ、感動の源になっているのだと思います。

私も初めて高生中の体育大会を経験しましたが、本当に感動的でした。

保護者の皆様におかれましては、お子様の体調管理や日々の励まし等でご支援いただきありがとうございました。これからも教職員一同これからも全力で支援して参ります。